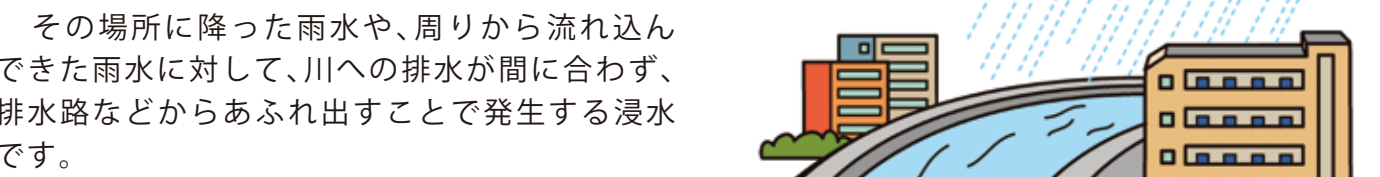


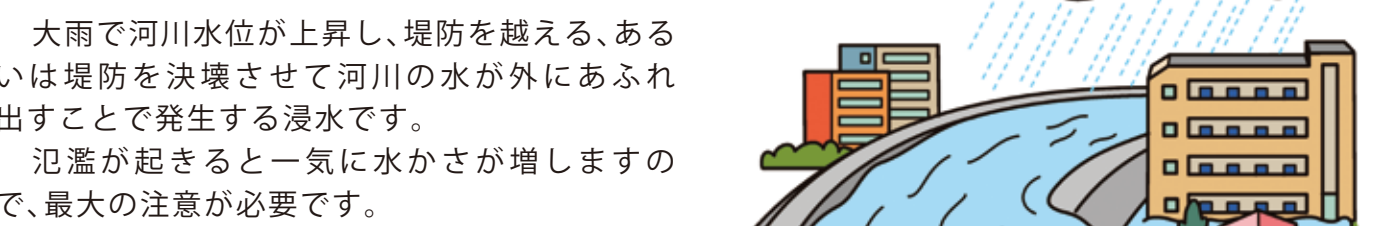
内水ハザードマップについて

局所的で短時間の集中豪雨（ゲリラ豪雨）によって、道路側溝や水路で排水しきれなくなった雨水が溢れ、浸水が発生した場合を想定したものです。
浸水する区域や深さをご確認頂き、浸水被害軽減のためにお役立てください。
外水氾濫によって予測される浸水被害については、別途、「八戸市洪水ハザードマップ」をご確認ください。
また、津波ハザードマップや土砂災害ハザードマップも合わせてご確認ください。

内水氾濫



外水氾濫



防災情報を入手しましょう			
取得方法	概 要	取得情報	
テレビ	ABAデータ放送 5チャンネルに合わせ、リモコンのdボタンを押し、「dボタン広報」で確認できます。	○	○
	NHKデータ放送 3チャンネルに合わせ、リモコンのdボタンを押し、『防災・生活情報』などで確認ができます。	○	○
メール	緊急速報メール<登録不要>	○	○
	ほっとスルメール 市からの大雨や土砂災害の情報をメールで入手できます。 2次元コードを読み取って空メールを送信するか、 anzenjoho@anshin.city.hachinohe.aomori.jp に空メールを送信	○	○
	青森県河川砂防情報提供システム 河川の水位情報、雨量情報、洪水予報、氾濫警戒情報	○	○
	登録方法 パソコン：http://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp/ 携帯電話：http://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp/mobile/ スマートフォン：http://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp/smart/	○	○
インターネット パソコン スマートフォン	八戸市公式LINEアカウント アカウント名：八戸市 LINE ID：@hachinohecity	○	○
	八戸市ホームページ https://www.city.hachinohe.aomori.jp/	○	○
	気象庁 https://www.jma.go.jp/	○	○
	青森県河川砂防情報提供システム 河川の水位情報、ライブカメラ映像 http://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp/index.html	○	○
	青森県土砂災害警戒情報システム 土砂災害警戒情報 https://www.dosya-keikai.pref.aomori.jp/	○	○
電話	川の水位情報（危機管理型水位計） パソコンやスマートフォンの画面で水位情報を確認できます。 https://k.river.go.jp	○	○
	川の防災情報 水害・土砂災害情報のマルチモニタ https://www.river.go.jp/portal/#80	○	○
	青森地方気象台 注意報、警報 電話：017-741-7459（自動応答・24時間対応）	○	○
広報車 防災行政 無線電話	土砂災害の恐れがあるときの連絡先 前兆現象を見つけたら、下記にご連絡をお願いします。 八戸市：電話（代表）0178-43-2111（現地警戒：港湾河川課 避難情報等：危機管理部）	○	○
	防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。 市内固定電話からは0800－800－7244（通話料無料） 市外固定電話・携帯からは0178－45－1860	○	○

警戒レベルと災害時にとるべき行動

平成30年7月に発生した西日本豪雨を教訓に、国は災害のおそれが高まった場合に住民の皆さんが適切な避難行動をとれるよう、災害発生時の危険度と避難行動を促す情報を「5段階の警戒レベル」でお知らせすることになりました。
市では、避難のタイミングとなる避難情報を、ほっとスルメール、テレビ、ラジオなどを通してお知らせします。災害に備え、警戒レベルと各段階でとるべき行動をチェックしましょう。

警戒 レベル	避難情報等	住民がとるべき行動	住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる情報	
	(必要に応じ、市が発令します)		水位情報がある場合	水位情報がない場合
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！	氾濫発生情報	大雨 特別警報
~~~~~(警戒レベル4までに必ず避難！)~~~~~				
4	避難指示	全員避難 災害が発生するおそれが極めて 高い状況等となっており、指定避難 所等への立退き避難を基本と する避難行動をとってください。	氾濫危険情報 (氾濫危険水位 到達時)	・洪水警報の 危険度分布 (非常に危険)
3	高齢者等避難	高齢者等は避難 避難に時間を要する高齢者等は、 速やかに立退き避難を開始して ください。また、その他の方も立 退き避難の準備をし、自発的に 避難してください。	氾濫警戒情報 (避難判断水位 到達時など)	・洪水警報 ・洪水警報の 危険度分布 (警戒)
2		ハザードマップ等で 避難行動を確認	氾濫注意情報 (氾濫注意水位 到達時など)	・洪水警報の 危険度分布 (注意)
1		災害への心構えを高める		

■ 避難は、早期の立退き避難が基本です。

避難は、浸水想定区域外の指定避難所等の安全な場所へ移動する「立退き避難」が基本です。ただし、

- ・浸水想定区域外への避難が間に合わない場合は、浸水想定区域内の指定緊急避難場所の避難可能階への避難。
- ・氾濫がすでに始まっている場合など、指定緊急避難場所への移動がかえって危険な場合は、近隣のより安全な場所への避難。
- ・周囲の状況から外出することと危険な場合には、自宅の2階等へ避難する屋内安全確保。

立退き避難

浸水想定区域外の避難所等

屋内安全確保

逃げ遅れた場合

の各行動をとりますよう。

■ 地域の自主防災活動、避難訓練への参加

いざという時、地域の人と協力し合うことで災害による被害を減らすことができます。

自主防災組織や避難訓練に参加し、日頃から備えておきましょう。

避難の心得

避難を行う際にもいろいろな危険が潜んでいます。十分注意して、あわてず、すみやかに避難しましょう。

正確な情報収集と早めの避難

テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意し、危険を感じたら早めの避難をすることが重要です。

安全な経路で避難

河川や水路などには、近づかないようにします。

履きなれた動きやすい靴を履きましょう

長靴はぬげる危険があります。

避難の際は車の使用を控えましょう

渋滞に巻き込まれたり、浸水の影響で走行が困難になることがあります。

動きやすい格好で避難

動きやすい服装で、必要最小限の荷物で避難しましょう。

夜間を避けて早めの避難

夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難をおきましょう。

危険！

氾濫水は勢いが強い

氾濫水は、勢いが強く水深が膝程度であると大人でも歩くのが困難です。緊急避難として、高い堅牢な建物にとどまることも選択肢の一つです。

水の中の障害物に注意しましょう

やむを得ず水の中を移動するときは、棒で足下を確認しながら移動しましょう。

